

試験資材のウイルスに対する不活化効果試験

—試験報告書—

試験番号：217037N

結果

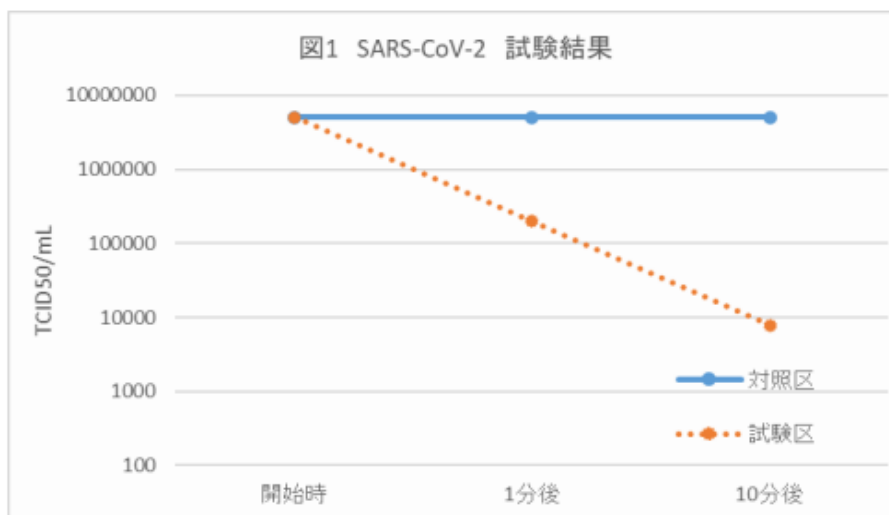
SARS-CoV-2 に対する試験結果を表 1 及び図 1 に示した。

対照区では試験開始後から、試験開始後 10 分までの間にウイルス量の変化は見られなかった($10^{6.7}$ TCID₅₀/mL)。

試験区では開始後 1 分で $10^{5.3}$ TCID₅₀/mL (96.0%減少)、10 分で $10^{3.9}$ TCID₅₀/mL (99.8%減少) となった。

表 1 SARS-CoV-2 試験結果(TCID₅₀/mL)

区	試験開始時	開始後 1 分	開始後 10 分
対照区	$10^{6.7}$	$10^{6.7}$ (5000000)	$10^{6.7}$ (5000000)
試験区		$10^{5.3}$ (200000)	$10^{3.9}$ (7900)



考察

今回、試験資材の SARS-CoV-2 (新型コロナウイルス) に対する不活化効果試験を実施した。

その結果、試験資材において、1 分の反応で 96.0%、10 分では 99.8%の不活化効果があることが判明した。

株式会社 食環境衛生研究所

〒379-2107

群馬県前橋市荒口町 561-21

Tel027-230-3411

Fax027-230-3412